

## ★学校評価の概要 ～まとめと次年度へ向けて～

### (1) 学校教育全体の状況

- 生徒の学ぶ機会を保障するため、断固たる決意を持って教育活動に努めてきました。学校が「楽しい」と回答した生徒の割合が昨年度を大きく上回り、「やや楽しい」の回答を合わせた割合も94.2%と、四年間で最高の結果となりました。また、学校行事や生徒会活動の充実度に対する保護者の方々からの評価も四年間で一番高くなっていますので、学校の取り組みに対して一定の支持を得ていると考えています。今後も働き方改革とのバランスを取りながら、マイナスの評価や個々の意見に目を向け、要望に対しては、改善できるところは応えていきたいと思えます。
- 「わかる授業」について、生徒、保護者の方々ともに「そう思う」の回答の割合が昨年度を大きく上回っています。また、「チャイム前に席に着く」「先生の方を見て話を聞く」「正しい姿勢で書く」などの学習マナーについての項目も、生徒の「そう思う」の回答の割合が上昇しています。指導を見直し、全校体制で徹底を図ってきた成果だと考えています。今後も、話し合い活動やICT機器を効果的に活用し、生徒にアウトプットさせる授業を展開することで、「わかる・できる・つかえる」を実感させていきたいと思えます。
- 朝読書に進んで取り組む生徒が大幅に減少しています。図書館活用についても数年来の懸案です。図書館司書とも連携をしつつ、読書活動について考えていきたいと思えます。

### (2) 学校運営の状況

- 生徒の安全確保について、保護者の方々の「そう思う」「やや思う」の回答の割合が昨年度を大きく上回り、四年間で一番高い評価を得ることができました。いじめや不登校対策、大規模な災害時における対応、感染症対策など、安心・安全に関する意識が非常に高まり、要望も年々増加しています。組織的ないじめ・不登校対応、不審者対応、避難訓練などに、生徒や保護者の方々、地域の方々の願いを反映させて取り組み、情勢を注視しながら感染症対策を進めることで、今後も一層、生徒が安心して通える学校づくりに努めていきたいと思えます。
- 公開授業、学校だより、ホームページ等で、学校の様子を伝えています。保護者の方々の評価では、それに対する「そう思う」の回答の割合が年々低下しています。「やや思う」の回答を合わせてみれば、昨年度を上回り一定の評価を得ているものの、地域の方々の評価において「学校のことがまったくわからない」という回答も多くあります。開かれた学校として、地域や保護者の方々にしっかりと伝わる広報の仕方を考えていきたいと思えます。

### (3) 教育活動の状況

- あいさつ、社会のルールやマナーを守るといった基本的な生活習慣について、「そう思う」と回答した生徒の割合が年々低下しています。「やや思う」の回答を合わせてみれば高い評価を維持していますが、保護者や地域の方々から苦言をいただくこともあり、生活習慣が乱れていかないようにする必要があります。今後も、落ち着いて学校生活を送ることができるよう、全校体制で継続して指導していきたいと思えます。

- 小規模校の特性を生かし、生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導を心がけてきました。学校の生徒理解や相談活動に対して、保護者の方々の「そう思う」の回答の割合が昨年度に比べて大幅に上昇しています。生徒の言動を通して、教師の熱意が伝わっているからだと考えます。生徒との信頼関係を築くことで、保護者の方々、地域の方々の信頼度も増していきます。今後も生徒一人一人を大切にし、信頼度をより一層高めていきたいと思えます。

#### (4) その他

- 今年度、地域行事がすべて開催され、ボランティア活動の機会も確保されたため、ボランティアに対する意識が高まり、前向きに参加する生徒も増えました。地域との関わりが強いことが北方中学校の特徴です。学校運営協議会やPTA活動などを通して、学校理解の機会を増やすとともに、広報活動にも努めていきたいと思えます。
- 「機会があれば学校にボランティアとして出かけた」という地域の方々の声が減少傾向にあります。協力者の高齢化も進んでいます。今後、新たな地域人材の確保に向けて積極的に働きかけていくことが必要となってきています。